

★★

巻頭言 元時事通信記者 篠田憲

岸田首相の政権運営はじり貧に一改造による政権浮揚は不発

★★

9 月 13 日に岸田首相は内閣を再改造したが、その直後に行ったマスコミ各社の内閣支持率によれば、朝日新聞は前月よりも微増したものの、毎日新聞は微減。政府与党よりの数字が出やすいとされる産経・フジテレビ系の FNN の調査でも、内閣支持率が 2.6 ポイント減の 39.8%（各社との比較では高い方）に落ち込んでいる。要するに、内閣改造による政権浮揚効果はなかったようだ。岸田首相は過去最多の 5 人の女性閣僚を登用し、「変化を力にする内閣で強固な実行力を持った閣僚を起用することとした」と胸を張ったが、副代表・政務官には一人の女性も登用せず、言行不一致と言われている。今後、女性閣僚のスキャンダルが出るのは確実。マイナンバーカードの混乱は続き、更なる支持率低下も予想され、また林芳正外相の外相退任と岸田内閣の屋台骨を支えていたと見られている木原誠二前官房副長官の党側への美談転出なども決してプラスにはなるまい。党内の最大派閥・安部派の統率不足も続いており、政権浮揚を目指した改造が不発に終わり、早期衆院解散を飛び越して岸田首相の政権運営そのものがジリ貧状態になる公算が大きい。

8 月までの各社の岸田内閣の支持率は下落してばかりだった。不支持率も 50% を超えていた。就中、時事通信社の 8 月の内閣支持率は目を覆うばかり。岸田内閣の支持率は 26.6%、自民との支持率は 21.1%に下落。この結果、「青木率」（青木幹雄元官房長官が経験に基づきはじき出した数字で、5 割を超えれば安定政権とされる）は 5 割を割り込んでいった。「青木率」が 5 割を割り込む事態は、8 年余り続いた故安部政権ではなかった。また秋元真利外務政務官（検察が議員会館を強制捜査した時点で辞任）が「再生エネルギー疑惑で逮捕された。同氏は再任された河野太郎デジタル担当相の最側近と言われている。河野氏は「ポスト岸田を狙う政治家」とされ、この再生エネルギー疑惑の行方が気になる。さらに、

「次を目指す」政治家として、茂木敏充幹事長や総務省官僚の発言を「嘘」と言い張る高市早苗経済安全保障担当相も再任し、特に目立った人事をしなかった。つまり「どうしてもよい人事でお茶を濁しただけ」（政界通）ではあるが、林芳正氏の後任外相に付けた上川陽子法相は考えた人事だと言われるが、これとて得点を稼ぐほどでもないようだ。むしろ、林氏を退任させる際に「これから派閥の方をみてくれ」と要請したことと、「疑惑を抱えている木原氏を茂木幹事長と萩生田光一政調会長の「お目付け役」として使おうとする「林・木原」人事に永田町の関心が集まっている。しかも、党四役の一つである党選対策委員長に起用した小淵優子氏への風当たりが強く、国民的人気が出ないのには、失望感が強い。それ以外は相対的に目玉人事はなく、二世三世の政治家がそろった感じだろう。岸田首相は来年の自民党総裁選をにらみ、同時に早期の衆院解散・総選挙を目指して講じた党役員・再改造人事だが、むしろ衆院解散は遠のき、政権継続すら危ぶまれる状況を生んだのではないかとの声も漏れ聞かれるほどだ。（憲）

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫
「インドの都市化の衝撃」

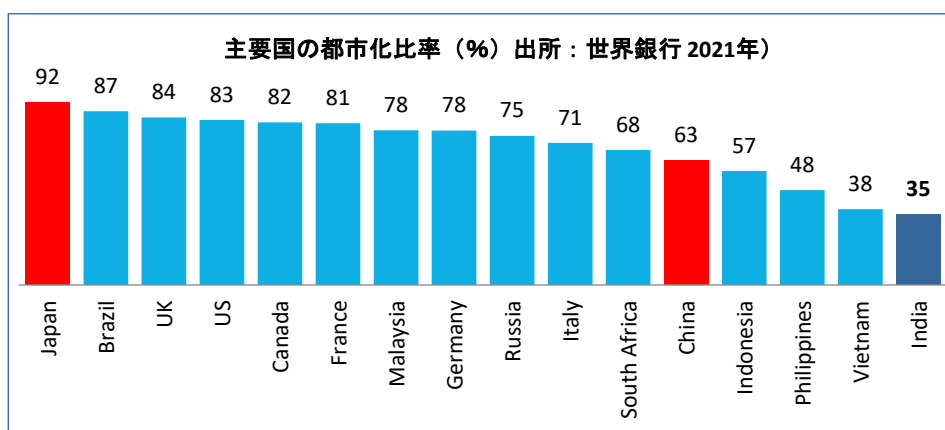
★★

以下は、世界主要国の都市化比率（都市人口の割合）を比較したグラフです。インドは右端の35%です。この比率は、G7先進国に比べても、BRICS各国に比べても、そして東南アジアの主要国に比べても、極めて低いことが分かります。

その原因には、製造業が未発達なため、カースト制度があるためなど、いろいろ挙げられますが、結果的にインド経済には他国が殆ど使い切ってしまった成長余力が十分残されています。

国連は、インドの都市化比率が2050年までに50%に達し、その過程でインドの都市部には4億人の人口が流入するだろうと予測しています。そしてその4億人は、今後27年間に世界で起こる最大の都市部への人口移動だそうです。

もしその通りならば、インド経済への影響は膨大です。不動産市場、個人消費、インフラ投資など、国の経済基盤を支える、殆ど全てが大きな刺激を受けるはずです。



インドの 35% という現在の都市化比率は、日本経済が 1950～1960 年代に、中国経済が 1980～2000 年代に成し遂げた年平均 10% という、「奇跡」の経済成長時代の初期段階と同じです。

1980 年にはインドの都市化比率は中国を上回っていました。しかし、現在は中国の比率が 30% 近くインドを超えています。そして、その都市化比率の差が、まさに過去 30～40 年、インドが経済発展で中国に大きく出遅れた最大の要因です。

ただ、いよいよこれからはインドの出番です。インフラ整備の進展と製造業の活性化でインドの都市化が世界を追いかける時、インドの経済は今までどの国も経験しなかったような強烈なエネルギーを発すると思われれます。

~~~~~ お知らせ ~~~~~

皆様、メールマガジンをご愛読いただきありがとうございます。早いもので、インドを色々な角度から書いてきてもう 4 年が経ちました。皆様の資産運用にお役に立っているでしょうか。

実はお知らせです。国際エコノミストの今井激先生の著書『2024 年世界マネーの大転換』（フォレスト出版）が 8 月 23 日に発売されました。その第 4 章「どの角度から捉えてもやってくるインドの時代」は、先生と私との対談です。

内容は、なぜインドなのかを読みやすく纏めたものです。できましたらお手にとってご覧ください。他の専門家のご意見も新 NISA が始まる 2024 年の準備には大変参考になります。

それでは皆様、今後ともよろしく願いいたします。



ムッシュ望月の今月の相場展望と映画紹介

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場



相場展望：目先は上値が重い展開に、想像以上に強いが

今年の日米の前半戦の相場を振り返ってみよう。東京市場の日経平均は1月4日の安値 25716 円から7月3日高値 33753 円まで 31.2% の上昇を記録した。その間、米国は金利の上昇局面にあり、円安も大きく進んだ。米国を代表する NY ダウは、3月13日の安値 31819 ドルから8月1日に高値 35630 ドルまで 11.9% を上昇した。東京市場の上場に寄与したのは、外国人投資家で、1月に 5022 億円の買い越し、2月は 937 億円の買い越し、3月は 2兆 1509 億円の売り越し、4月は一転して 2兆 3111 億円の買い越し、5月は 2兆 2304 億円の買い越し、6月は 1兆 5705 億円の買い越し、7月は 4231 億円買い越し、8月は 4270 億円の売り越し、9月は 7625 億円の売り越しと2ヵ月の売り越しに転じた。金額的に見る限り利益の確定売りを若干した程度に過ぎない。東証改革の中で、PBR1 倍以下の企業をなくす政策として、新しいタイプのアクティブ ETF が 6 つ出来たことも市場活性化につながる。来年 7 月には渋沢栄一の新札が発

行される、日本の資本主義を変えた人がリーダーとなる影響は大きいはず。筆筒で寝ていると思われる 82 兆円程の資金の一部も当然証券市場に流れてくるからです。なぜなら、来年は長い間のデフレを脱局するタイミングに当たり、長期デフレからインフレにシフトするタイミングに当たり、インフレヘッジの株買いブームが起きてもおかしくはない。

また、株式市場で投資する上で大切なものは、企業業績である。日本の企業業績は、今年度で 3 期連続の最高益となる見通しである。外需関連は半導体・スマホ不況を自動車の回復と円安効果でカバーし、内需関連は脱コロナ・インバウンドの復活と値上げ効果で大幅増益となる見込みである。今 4 年の第 1 四半期決算を終えた約 490 社の最終利益に関して、アナリスト予想のコンセンサスは会社予想を 2 兆 5800 億円と会社計画を 7% も上回っている。最終利益で見ると 6% 増益とかなり保守的であり、最終的には 2 桁増益の可能性が高い。一段と欧米企業との比較で日本企業の優位性も目立ってくることになるだろう。

夏休みを終えた海外投資家は、年末のパフォーマンス獲得に向けて、また今 24 年 3 月期間決算上方修正を先取りする動きを強めるだろう。日銀による金利の上昇転換の可能性が高いだけに過去割安水準が続いた金融株に注目したい。30 年近く低迷していただけに、まだ眠りが覚めたところに過ぎない。

#### 今月の映画：「ダンサーイン Paris」

今月は 10 作品に出会いました。通算では 93 作品となりました。今月は、インド映画のパターン、アステロイドシティ、こんにちは母さん、エリザベート 1878、福田村事件、グリーンツーリスモ、ミステリーという勿れ、名探偵ポアロ、私の大嫌いな弟へ、ダンサーイン Paris で、お薦めの一番は、ダンサーイン Paris、次はグランツーリスモ、3 番目がパターンになります。この作品は、感動と圧巻のステージにフランスでは 140 万人を動員しました。監督はセドリック・クラビッシュで、過去には「スパニッシュ・アパートメント」「パリのどこかで、あなたと」という作品があります。主演エリーズは、パリ・オペラ座バレエ・ダンサーのマリオン・バルボーです。エリーズはパリ・オペラ座のバレエ団でエトワールを目指していましたが、恋人の裏切りにより心が乱れ、ステージで失敗し足首を捻挫してしまいます。医師からは二度と舞台には立てなくなる可能性まで告げられ、一晩で恋人と仕事を失うことになる。バレエ一筋で生きてきただけに、何をして良いか分からず途方に暮れる。絶望していたエリーズに、ブルターニュのレジデンスでの料理アシスタントの仕事が舞い込み、気分転換も兼ねて同地に向かう。ブルターニュの海岸で人と自然の繋がりから自分自身を取り戻していく。新しい恋人とコンテンポラリーバレエとの出会いから、第二の人生を歩み始める。すると、二度と踊れないレベルまで悪化した足首も再生しだし、医師

もびっくりするほどの回復をする。克服したエリーズの姿に心を奪われます。  
最高に良い気分させてくれる映画です。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 23年10月以降のイカス倶楽部スケジュール

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

- 10月04日(水)：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所  
10月05日(木)：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所  
10月10日(火)：16：00～サロン・ド・望月、イカス事務所  
10月21日(土)：15：00～スペリオル投資クラブ、イカス事務所  
10月26日(木)：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所  
11月01日(水)：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所  
11月02日(木)：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所  
11月14日(火)：16：00～サロン・ド・望月、イカス事務所  
11月25日(土)：15：00～スペリオル投資クラブ、イカス事務所(注意)  
11月30日(木)：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所(注意9  
上記・下線のサロンは自由参加です。参加費：3000円(消費税込み)

### イカス(活かす)のイベント：

- 第20回(コロナ再開後)カラオケ会：23年10月27日(金)：18：00～21：00  
第21回(コロナ再開後)カラオケ会：23年11月24日(金)：18：00～21：00  
第22回(コロナ再開後)カラオケ会：23年12月22日(金)：18：00～21：00

カラオケ会の定員は15名、参加費6500円、会場は倶楽部エル

サロン・ド・ムッシュ望月特番：10月10日(火)16：00～18：00、イカス事務所

ゲスト：奇跡のキノコ(白雪茸)のマイクロテクノ(株)津野芳彰社長

サロン・ド・知久(交流会)：参加費3000円、歩く会・特番は別料金

第32回：23年10月31日(火)14：00～16：00

講師：恵聖氏、詩吟アーティスト、舞台「鬼滅の刃」作詞&歌唱担当、イカス事事務所

第33回：23年12月26日(火)14：00～16：00

講師：原真善美氏、「(仮)東京夜間飛行からの旅立ち」、イカス事務所

第41回：イカス冬の交流会：2023年12月7日(木)午後6時～午後9時

外国特派員協会、参加費：10000円、歌：金井優佳、ピアノ：井上ゆかり

講師：勝池和夫氏「インドの時代とあなたの金融資産の未来」

参加者：60名予定

NPO イカス：東京都港区新橋 3-16-12 横山ビル 6F

[info@npo-icas.com](mailto:info@npo-icas.com) <http://www.npo-icas.com>

★年会費等振込先：三菱 UFJ 銀行、新宿中央支店、普通 5 3 1 3 5 5 0  
特定非営利活動法人イカス

★毎日 FB・ツイッター更新：望月純夫（証券歴 50 年超、ラジオ日経他等）